

# cheero

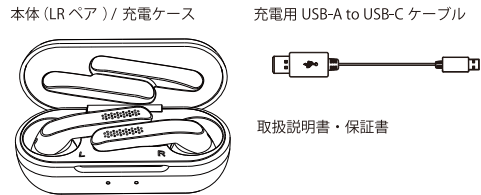
## 取扱説明書

### cheero Wireless Earphones - Light Style -

型番 CHE-626  
日本語版

#### 内容物

本体及び付属品が同梱されていることをご確認ください。



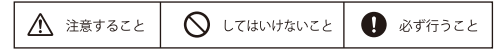
#### 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- 危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



#### 危険

■バッテリーについて  
本機には、イヤホン本体 (LR) および充電器ケースにリチウムポリマーバッテリーが内蔵されています。発熱、発火、液漏れ等を避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

- 異臭や発熱、ひずみ、変色などの異変に気づいたら使用を続けず、発熱や破裂、発火の原因となります。
- 分解・改造しない  
発熱や発火、感電の原因となります。
- 火の中に入れたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない  
バッテリーの破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。
- 電解液が漏れている場合は使用を続けず、発熱や破裂、発火の原因となります。

警告	
	故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源を切る ●煙が出ている、変なにおいや音がする ●本機を落としてしまった ●本機内部に水が入ってしまった このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切って販売店あるいは当社ご相談窓口にご連絡ください。
	分解、改造しない 火災・感電の原因となります。 内部の点検・整備・修理は販売店あるいはご相談窓口にご連絡ください。
	長時間大きな音で使用しない 本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。
	小さなお子様の手が届くところで使用・保管しない ご使用後はイヤホン本体を充電ケースに入れて、お子様の手の届かないところに保管してください。 感電やけが、誤飲の原因となります。
	自転車、オートバイ、自動車または機械類の運転操作をしない 運転操作中はもちろん、それ以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、使用しないでください。
	水につけない 本機のイヤホン本体は防噴流形 (水の噴射を直接浴びても有害な影響がない) ですが、以下のことにはご注意ください。 ●風呂やプールなどに沈めない ●強い噴流水を与えない
	水蒸気や水のかかる所に置かない 本機の充電ケースは防水防滴形ではありませんので、水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 ●濡れたままの本体を収納しない ●風呂場や脱衣場など湿度の高い場所では使用しない ●調理台や加湿器のそばには置かない ●雨や雪などがかかる場所で使用しない
	USB-C 入力は定期的に掃除する USB-C 入力口にほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。充電用ケーブルを外し、乾いた布でほこりを取り除いてください。
	電解液が漏れた時は素手で液をさわらない 液漏れが発生した時には販売店あるいは当社修理ご相談窓口にご相談ください。液が目に入った時には失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。 液が体や衣服に付いた時は皮膚のけが・やけどの原因となるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

#### ■充電用 USB-A to USB-C ケーブルについて

- 充電用ケーブルを傷つけない  
●ケーブルの上に重い物をせない  
●傷つけたり、加工したりしない  
●熱器具などに近づけない、加熱しない  
充電用ケーブルが傷んだら (芯線の露出・断線など) 使用を中止してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 充電用ケーブルを鋭い角度で曲げたり、無理にねじったり、引っ張ったり、無理な力を加えない  
内部の線材や端子が破損して火災・感電の原因となります。
- 充電中に雷が鳴りだしたら、充電用ケーブルに触れない  
感電の原因となります。

#### ■電波について

- 心臓ペースメーカーを装着されている場合は使用しない  
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。
- 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では使用しない  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。
- 他の機器に電波障害などが発生した場合使用を中止する  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

#### 注意

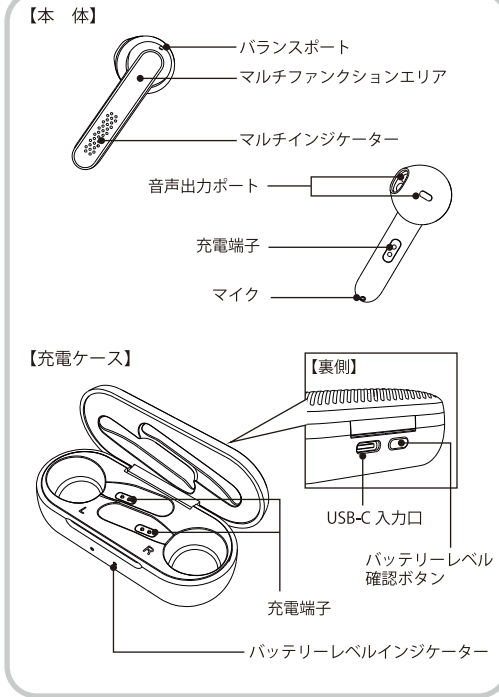
- 音量を上げすぎない  
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 移動させる際は充電用ケーブルをはずす  
移動させる際は、安全のため充電用ケーブルを抜いてから行ってください。USB-C 入力口や USB-C 端子が破損することがあります。
- 0~45℃以外の場所で使用しない  
内蔵バッテリーが液もれ・発熱・破裂する原因となります。  
発熱時は充電用ケーブルをはずしてしばらく放置する  
発熱や発火の原因となります。
- バッテリーがいたるところで使用・保管しない  
感電やけが、誤飲の原因となりますので、ご使用後はイヤホン本体を充電ケースに入れて、ベットの触れないところに保管してください。

#### ■電波について

本機が使用する周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、次の点に十分ご注意くださいご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。
- すべての Bluetooth 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。
- 一部の国では、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

#### 各部の名称



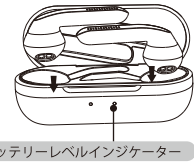
#### ■ご使用に際して

スマートフォンなど Bluetooth 対応機器の音声・楽曲をワイヤレスで楽しむことができます。  
※本機をイヤホンとして使うには Bluetooth 対応機器が A2DP プロファイルや、またハンズフリー通話を行うには HFP または HSP プロファイルをサポートしている必要があります。なお、すべての Bluetooth 対応機器との接続動作を保証するものではありません。

#### 充電する

##### ●イヤホン本体を充電する

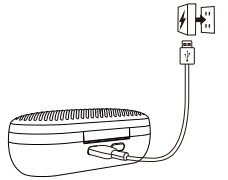
イヤホン本体を充電ケースに収納すると、充電ケースのバッテリーレベルインジケータが青く点灯します。続いてイヤホンのマルチインジケータが赤色に点灯し、充電が始まります。



※保護シートが付いている場合は、それを剥がしてから充電します。  
※バッテリーインジケータあるいはマルチインジケータが消灯すれば充電完了です。  
※充電時間は約 1 時間 30 分です (初回充電時はさらに時間がかかる場合があります)。

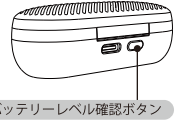
##### ●充電ケースを充電する

- 付属の充電用ケーブルの USB-C 端子を充電ケースの「USB-C 入力口」に接続します。
- 充電用ケーブルの USB-A 端子をパソコンに接続します。または充電用ケーブルを USB AC アダプタ (別売) に接続し、アダプタを家庭用コンセントに接続します。
- バッテリー残量に応じて青く点灯 / レベルインジケータがグリーン / 点灯します。  
※インジケータがすべて点灯すれば充電完了です。  
※充電時間は約 1 時間です (初回充電時はさらに時間がかかる場合があります)。
- 充電が完了しましたら充電用ケーブルを外します。  
※長時間使用しないときバッテリーが自然放電して劣化しますので、3ヶ月に1度程度は本機への充電を行ってください。



##### ●充電ケースのバッテリー残量の確認

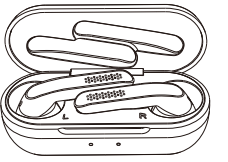
充電ケースのバッテリーレベル確認ボタンを押します。  
※バッテリーレベルインジケータが 1 つしか点灯しないときはバッテリー残量が残り少なくなっていますので、充電を行ってください。



#### 電源の入れ方 / 切り方

##### ●電源の入れ方

充電ケースのフタを開くと自動的に電源が入り、「パワーオン」というアナウンスが流れ、マルチインジケータが青く 3 回点滅した後消灯します。



※充電ケースから取り出した状態で電源が切れているときは、ケースに入れて、マルチインジケータが赤く点灯していることを確認してから取りだします。  
※イヤホン充電中 (マルチインジケータが赤く点灯) に取り出すと、マルチインジケータが消灯して電源が入ります。  
※L 側 R 側のどちらかのマルチインジケータが赤と青の交互点滅しているときは「Bluetooth 対応機器とペアリング (機器登録) する (ペアリングモード)」の項目を参考に Bluetooth 対応機器とのペアリングを行います。

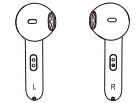
ここで、以前に Bluetooth 対応機器とペアリングが完了していれば、「コネクティッド」というアナウンスが流れ、自動的にペアリングが完了します。

##### ●電源の切り方

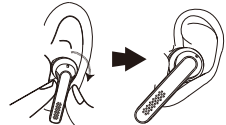
充電ケースに収納してフタを閉じると、自動的に電源が切れます。※バッテリーレベルインジケータが消灯している時にフタを閉じると青く点灯してから約 10 秒後に消灯します。

#### イヤホンの装着方法

- イヤホン本体に「L」という印字のある方を左耳に、「R」という印字のある方を右耳に装着します。



- 装着後、L 側は時計回り、R 側は反時計回りに少し回すことで、耳のくぼみに収まりやすくなります。



## Bluetooth 対応機器とペアリング(機器登録)する(ペアリングモード)

Bluetooth 対応機器と接続するには、はじめに1回だけペアリングを行う必要があります。事前にBluetooth対応機器の「Bluetooth 設定機能」を有効(オン)にする方法や「接続操作」の操作手順をお調べください。

- 充電ケースのフタを開くと自動的に電源が入り、「パワーオン」というアナウンスが流れ、マルチインジケータが青く3点滅した後に消灯します。

※イヤホン本体が充電ケースに入っていないときは、まず充電ケースに入れて、マルチインジケータが赤く点灯することを確認してください。

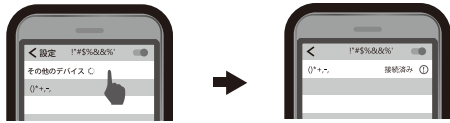
電源が入ると、L側R側2つのイヤホンのうち、片側がマスター(注1)に、もう片側がスレーブ(注2)にランダムに設定され、マスター側とスレーブ側の間で自動的にステレオペアリングが行われます。ステレオペアリングが完了すると「ペアリング」というアナウンスが流れ、マスター側のマルチインジケータがBluetooth対応機器とのペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。

※電源が入らないときは充電してください。  
 ※ペアリングされた機器が見つからないときも自動的にペアリングモードになります。  
 ※ペアリングモードで何もしないと約10分で自動的に電源が切れますので、それまでにペアリングを有効にしてください。

- Bluetooth 対応機器のBluetooth 設定機能を有効(オン)にします。Bluetooth 対応機器の画面に表示される「CHE-626」を選んでください。

接続が完了するとマスター側の赤と青の交互点滅が消灯し、「コネクティッド」というアナウンスが流れ、スレーブ側のマルチインジケータが青く2点滅した後消灯します。  
 ※Bluetooth 設定機能を解除(オフ)にするとペアリングが解除され、「ディスプレイコネクティッド」「ペアリング」(ステレオペアリングのこと)というアナウンスが流れて、マスター側のマルチインジケータがペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。

(注1) (注2) 本機は通常片側のマスターと呼ばれる側がBluetooth 対応機器と通信し、もう片側のスレーブと呼ばれる側はマスター側と通信して音声を再生します。



## Bluetooth 接続で再生する

- Bluetooth 対応機器の接続操作を行います。

※最後にペアリングした Bluetooth 対応機器の電源が入っており、そばにあると、充電ケースのフタを開くだけで、最後にペアリングした Bluetooth 対応機器と自動的に再接続します。

※Bluetooth 対応機器の電源を切ったり、Bluetooth が届く範囲から外れると、ペアリングが解除され、「ディスプレイコネクティッド」「ペアリング」(ステレオペアリングのこと)というアナウンスが流れて、マルチインジケータがペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。

このときBluetooth対応機器の電源を入れ直したり、Bluetooth が届く範囲に入っても、ペアリングがうまく行かないときがあります。その場合はイヤホン本体をいちど充電ケースに戻し、マルチインジケータが赤色に点灯するのを確認してから取り出します。

- 本機あるいはBluetooth対応機器を操作して音声を再生します。

※音量の調整はBluetooth対応機器で行います。

※バッテリー残量がなくなると警告音と「バッテリーロー、プリーズチャージ」というアナウンスが流れますので、充電ケースに収納して充電を行ってください。

※この状態でも数分間使用できますが、さらにバッテリー残量が少なくなると「パワーオフ」というアナウンスとともに自動的に電源が切れます。

## 音楽の再生操作

Bluetooth 対応機器が AVRCP に対応している場合、本体から以下の操作が可能です。

- R側のマルチファンクションエリアダブルタップ(注3)することで再生一時停止を繰り返します。トリプルタップ(注4)すると次の曲にスキップ音楽などが再生されていないときに3回タップするとSiriが起動します。(iPhone や iPad などの Apple 製デバイスの場合) ※もういちど3回タッチすると Siri が終了します



- L側のマルチファンクションエリアダブルタップ(注3)することで再生一時停止を繰り返します。トリプルタップ(注4)すると曲の頭に戻ります。 ※再生中の曲の最初から3秒以内です、ひとつ前の曲に戻ります。 ※使用する機種・アプリによって、動作が異なる場合があります。音楽などが再生されていないときに3回タップすると Siri が起動します。(iPhone や iPad などの Apple 製デバイスの場合) ※もういちど3回タッチすると Siri が終了します



- (注3) ダブルタップ: 指で続けて2回、ポンポンとたくこと (注4) トリプルタップ: 指で続けて3回、ポンポンポンとたくこと

## ハンズフリーで通話する

Bluetooth対応機器が携帯電話やスマートフォンなど電話機能を持っている場合、電話が掛かってくると、マルチインジケータが青く点滅し、イヤホン本体から電話のコール音が聞こえ、「インカミングコール」というアナウンスの後、かけてきた相手の電話番号がアナウンスされます。このとき、L側あるいはR側のマルチファンクションエリアをダブルタップすると通話ができます。

※マルチファンクションエリアをダブルタップする代わりに、Bluetooth 対応機器で本機を選択することもハンズフリーで使用することができます。

※通話を終了したいときはもう一度 L 側あるいは R 側のマルチファンクションエリアをダブルタップします。通話を終了すると「コール・エンディッド」というアナウンスが流れます。

※音声を再生中に電話が掛かってくると、音声がミュートされて電話のコール音が聞こえます。通話を終了するとミュートが解除されて音声が再開されます。

※電話が掛かってきたときに電話に応答しなかった場合、「インカミングコール・エンディッド」というアナウンスが流れます。

※コール音は通常携帯電話やスマートフォンなどからも聞こえます。それらからコール音を出したくないときはマナーモードに設定します。その場合でもイヤホン本体からはコール音が聞こえます。

## 片側だけ使用

通話用のヘッドセットとして、片耳だけに装着したいときは、Bluetooth対応機器とのペアリングが済んでいれば、充電ケースから片方だけ取り出せば、モノラルのイヤホンとして使用することができます。

※あとからもう一つを充電ケースから取り出すと、自動的にステレオペアリングが行われ、L側R側を使用したステレオイヤホンになります。

※ステレオイヤホンとして使用中に片側だけ充電ケースに戻すと、残ったイヤホンがモノラルイヤホンになります。

※Bluetooth対応機器で使用しているアプリケーションによっては、イヤホンの出し入れのときに再生や再生音が停止することがあります。

## その他の機能

- マスターとスレーブを入れ替える

本機は最初に電源を入れたときに、ランダムに片側がマスターに、もう片側がスレーブに設定されますが、そのマスターとスレーブを入れ替えることができます。

※マスターとスレーブが入れ替わることによる制約はとくにありません。

※マスター側はその特性上、スレーブ側に比べて電池の消耗が早いので、途中で入れ替えるとステレオとしての使用時間を延ばせる可能性があります。

- Bluetooth対応機器とのペアリングを解除します。 ※接続を解除するだけでなく、登録を解除します。
- L側、R側とも充電ケースに収納します。このときマスター側のマルチインジケータは赤と青の交互点滅をしています。
- スレーブ側をケースから取り出し、ケースのフタを開めます。
- 数秒待つと、ケースから取り出したスレーブ側がマスターになり、マルチインジケータが赤と青の交互点滅を開始します。

この状態でフタを開くと使用したい Bluetooth対応機器からペアリングを行うことができるようになります。

## バッテリーの廃棄について

本機の内蔵バッテリーにはリチウムポリマーバッテリーが使用されています。廃棄するときは、お住まいの各自治体の条例に従ってください。条例の内容については、お住まいの各自治体にお問い合わせください。

## 商標について

iPhone、iPad は Apple Inc. の商標です。 iPhoneの商標は、アイホン株式会社ライセンスに基づき使用されています。 その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

## 故障かな?と思ったら

電源が入らない	本体(イヤホン)のバッテリー残容量が不足している →本体を充電してください。
充電できない	本体が充電ケースに正しく装着されていない →装着後、マルチインジケータが赤色に点灯すると正しく装着されています。
ペアリングできない	本機と Bluetooth 対応機器が離れすぎている →なるべく近づけてからペアリングしてください。
Bluetoothに接続できない	本機の電源が入っていない、あるいは Bluetooth 対応機器の電源が入っていない →本機の電源をLRとも入れてください。また Bluetooth 対応機器の電源も入れてください。 Bluetooth対応機器のBluetooth機能がOFFになっている →Bluetooth 機能を ON にしてください。
音がでない	本機の電源が入っていない、あるいは Bluetooth 対応機器の電源が入っていない →本機の電源を LR とも入れてください。また Bluetooth 対応機器の電源も入れてください。 Bluetooth対応機器の出力先設定が「CHE-626」になっていない →「CHE-626」を選択してください。 Bluetooth 対応機器の音楽が再生されていない →音楽を再生してください Bluetooth対応機器がミュートになっていた、極端に音量が小さい →ミュートを解除したり、音量を適切に上げてください。
イヤホン本体をケースに収納したのに Bluetooth 対応機器から音が出ない	ケースのフタが開いている →フタを閉じないでイヤホンの電源が切れません。フタを閉じてください。
音がはずんだりノイズが出る	本機と Bluetooth 対応機器との間に障害物がある →障害物を取り除いてください。 近くに2.4GHz 帯の電波を発する無線機器や電子レンジなどの機器がある →それらの機器の使用をやめるか、機器から十分離れてください。 本機とBluetooth対応機器との距離が離れすぎている →本機とBluetooth対応機器との距離を縮めてください。
思った以上に通信距離が短かったり、音が途切れたりする	近くに2.4GHz帯の電波を発する無線機器や電子レンジなどの機器がある →それらの機器の使用をやめるか、機器から十分離れてください。
マスター側の電池が先になくなる	仕様であり不具合ではありません。 →スレーブ側はマスター側より長く使えます。このときモノラルになりますが、マスター側を充電しながらスレーブ側を使うことができます。

## 主な仕様

品名	cheero Wireless Earphones - Light Style -
型番	CHE-626
Bluetooth Ver	Ver. 5.0
防水規格	IPX5
対応プロファイル	A2DP/AVRCP/HSP/HFP
対応コーデック	SBC、AAC
最大通信距離	約10m
再生周波数帯域	20Hz~20kHz
バッテリー容量	40mAh (本体) / 300mAh (ケース)
入力(ケース)	DC 5V / 1A max.
充電時間	約 1.5 時間 (本体) / 約 1 時間 (ケース)
再生時間(本体)	約 5 時間 (通話のみ) / 約 5 時間 (音楽再生のみ)
再生時間(ケース)	約 12.5 時間 (本体への充電回数 2.5 回分)
待受時間	約 80 時間
動作温度	0~45°C
寸法	約42×17×19mm(本体) / 約71×30×26mm(ケース)
重量	約 4g (本体) / 約 30g (ケース)

## ご相談窓口のご案内

製品に不具合がございましたら、不具合内容、ご購入店舗を、下記問合せ先までご連絡ください。ご注文番号がある場合は、ご注文番号もお知らせください。

お問い合わせ先: ティ・アール・エイ株式会社  
 Eメール: love@cheero.jp  
 URL: cheero.net

## 保証書

- 保証書をご提示又は送付いただく事で、同等の製品と交換させていただきます。
- この保証書はcheero Wireless Earphones - Light Style - 本体および充電ケースの保証です。またご使用に際して携帯電話、その他の音楽データ各種メモリー内容に関する損害などの保証をするものではありません。
- 保証の際には納品書(注文番号がわかるもの)が必要となりますので、保証書と一緒に保管しておいてください。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には保証の対象外となります。
  - ※使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷
  - ※お買い上げ後の輸送、落下などによる故障または損傷
  - ※不適当な保管、保存による故障または損傷
  - ※火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、煙害、などによる故障または損傷
  - ※本書のご提示がない場合
  - ※その他、当社の責任とみられない故障または損傷

保証期間	お買い上げ日より1年間
商品名	cheero Wireless Earphones - Light Style -
お買い上げ日	年 月 日

ティ・アール・エイ株式会社 住所: 大阪市中央区北浜東6番6号